

河川事業の再評価概要書

() は、前回再評価時

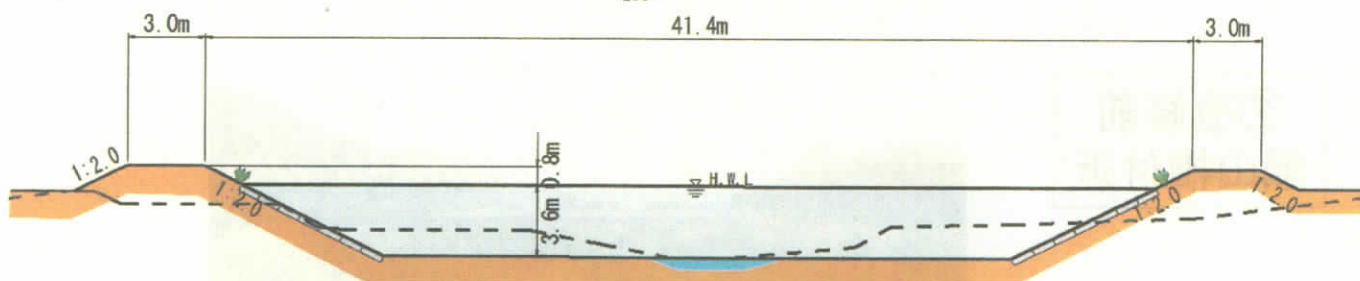
河川事業の再評価概要書			番号	3
			事業主体	栃木県
事業名	安全な川づくり事業		事業所管課	県土整備部 河川課
路線・河川名	一級河川 <small>ながのがわ</small> 永野川		事業箇所名	<small>とちぎし</small> 栃木市
事業区間	<small>とちぎししりうちまち</small> 栃木市尻内町地先～ <small>とちぎしほしのまち</small> 栃木市星野町地先		事業延長	7,075m
平成9年度事業化			平成9年度用地着手	平成9年度工事着手
事業期間	(H9～H28) H9～H33	事業 進 捗 状 況	基準年次：【平成28年度末時点】	
[うち用地補償費]	[3.8億円]		[うち用地補償費]	[3.7億円] 進捗率 97%
全体事業費	30.9(28.8)億円		既投資事業費	27.8億円 90%
事業概要				
<p>永野川は、その源を足尾山地の尾出山<small>おでやま</small>に発し、南東に南下しながら、栃木市を経て、巴波川へ合流する一級河川である。</p> <p>計画区間は、屈曲が著しく、河川断面が狭小で流下能力が不足していることから、豪雨時には宅地や農地に浸水被害が生じている。</p> <p>そこで、河川断面の拡大を図り、氾濫を防止し、浸水被害の解消を図る。</p>				
事業を巡る社会経済情勢の変化、事業計画の大幅な変更等				
沿川地域における大きな土地利用の変化はない。				
事業の投資効果				
① 費用対効果分析結果				
		【総便益(B)】	【総費用(C)】	
1) 事業全体	B/C=19.8	975.9億円	49.2億円	[L=7,075m区間]
2) 残事業	B/C=1.3	4.3億円	3.4億円	[L=675m区間]
② 事業の整備効果等				
整備を図ることにより、宅地、学校、道路や農地の浸水被害が解消される。				
事業の進捗状況等				
① 事業の進捗状況				
事業延長7,075mのうち、尻内橋から牛落橋の6,400mの整備が完了している。				
② 今後の事業進捗の見込み				
今後の事業については、計画的に整備が進められる見込みである。				
コスト削減等				
① コスト削減方策				
築堤の盛土材については他事業で発生した残土を流用し、工事費の削減を図る。				
② 代替案立案等の可能性				
計画区間において、9割以上改修工事が完了しているため、本計画が最適である。				
事業の対応方針(案)		現計画で事業を継続する。		

事業箇所(位置図、概要図)

位置図

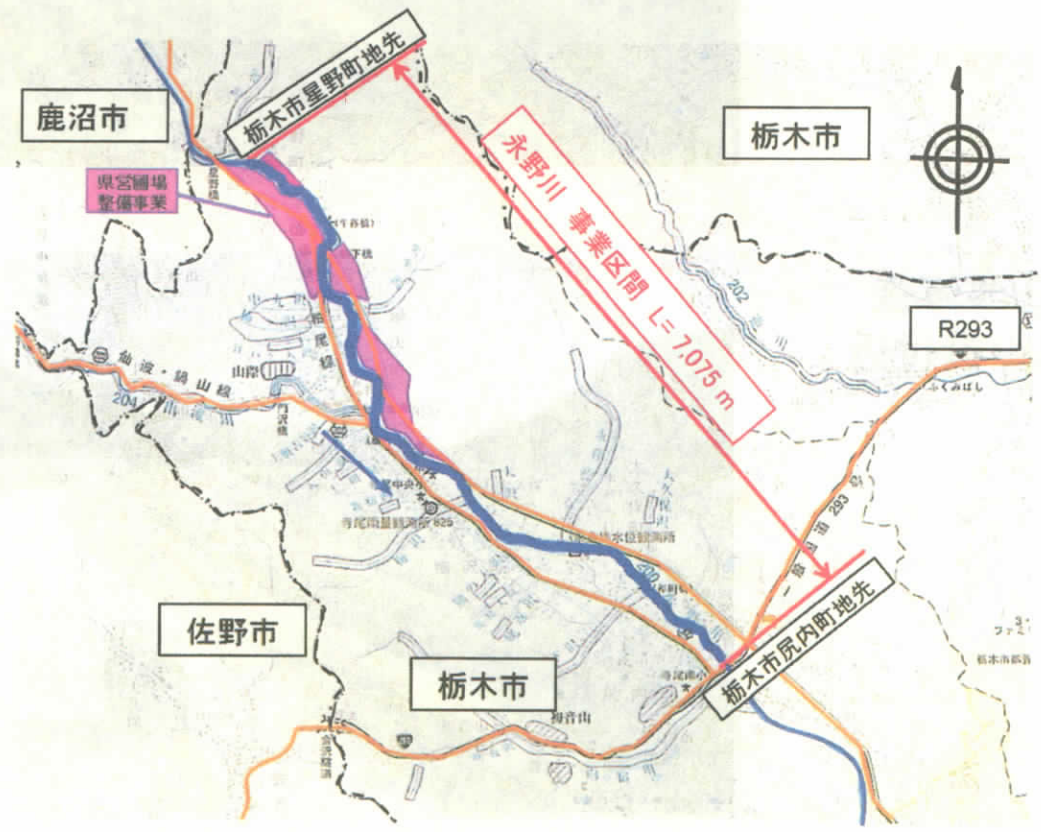


標準断面図



■ 現況流下能力流量 : $Q=135\text{m}^3/\text{s}$
 ■ 計画流量 : $Q=270\sim 350\text{m}^3/\text{s}$

概要図



①出水状況
寺尾橋付近



②改修前
鍋山橋付近



③改修後
鍋山橋付近

